

# 伊藤 直之さん

2015年度入学、2019年度卒業  
洛南高等学校・附属中学校 世界史教員



大学では西洋史コースに所属しており、近世フランス史を専攻していました。京都大学大学院に修士論文を提出したあとは、東寺近くにある私立洛南高等学校・附属中学校に就職しました。現在は中学1年生の歴史と高校1年生の世界史を担当しています。

また歴史学科での学業のかたわら、京都府立大学合唱団に所属しており、2～3回生時には指揮者もつとめていました。3回生時にはお隣の京都コンサートホールでもステージを指揮し、良い思い出になっています。その縁あってか、学校でも中高合唱部顧問として指導にあたっています。

洛南にはさまざまな生徒がいます。中学受験を経た生徒、高校から入ってきた生徒。学業に力を入れる生徒、部活動に力を注ぎゆくゆはオリンピアンを目指す生徒。そうしたいろんな生徒や先生がたのかかわりの中で、私じしんも日々成長させてもらっています。

## ▼インタビュー

### Q1.歴史学科のよいところは？



国公立大学だと、最初から歴史を専門に学べるところって意外とないんですよね。例えばほかの大学だと「文学部」に所属して、3回生になってから専攻に進んだり、人数が集まりすぎた専攻では面談で決められることになったりします。そういう点では、**1回生の最初から歴史を学べるのがよいところ**だと思います。

それから、**学生数の少なさ**がこの大学の最大の魅力かなと思います。私は西洋史コースで川分先生のゼミでお世話になっていましたが、面談も月に2～3回ぐらいやってもらっていました。卒業論文も第9版ぐらいまで書いて……密に連絡を取って手取り足取り教えていただいた記憶ですが、それぐらい先生との距離が近い。学生同士でも、すぐに知り合いになって壁なく付き合える。私は少なくともそう感じていたのですが、**人と人の距離が近くてすぐに助け合える環境にある**な、というのが京都府立大学歴史学科ならではの魅力だと思います。

### Q2.在学中にやっておいてよかったことは？



**友人を増やすこと**です。**友人と助け合える関係性を築くこと**が非常に大切だと思います。私は入学時「これがしたい」ということがありませんでした。「新しい知を生み出す」という歴史学の本質を知らなかったで、当時は歴史に飽きてしまっており目標はありませんでした。そんなときでも**助け合える友人の存在が大きな支えになりました**。初対面の人に声をかけるのは緊張すると思いますが、勇気を出して声をかけてみてください。大学生活の中で友人の存在は本当に大切だと思います。府大の強みである「人と人の距離の近さ」を活かして、多くの友人を作ってください。

### Q3.現在のご職業を選んだ理由は？



歴史学科では教職課程と学芸員課程とがありますが、1回生の頃に友達と話し合って教職課程の授業を取ることに決めました。**4回生になって、京都府の公立高校の教員採用試験についてキャリアサポートセンターの先生に相談して勉強を始めたあたりから、将来学校の教員になることを意識**し始めました。面接の準備の際には、キャリアサポートセンターの先生や周りの友達、高校の教職インターンシップの先生など多くの人に支えてもらい、最終的に試験に合格することができました。私が**教員という職業に至ったのは、周囲の環境からの影響が大きかった**と思います。

今、実は教員をしながら**博士論文を書くという夢を持っています**。私の母校の先生が教員をしながら博士論文を書いて実際に大学に提出しており、また高校の先生が書いている論文もよくあるため、私も同じ道を選ぶことにしました。現在は、**学校の教員をする一方で研究にもいまだ関心があります**。

### Q4.ご職業のやりがい・大変なことは？



やりがいは**生徒が楽しく授業を受けてくれること**です。生徒から好かれているというのが一番のやりがいですね。成績関係なく、授業を真面目に聞いて教室の仕事をきちんとやってくれていればその姿がそのまま私のやりがいになります。

大変なことは、まだ1年目ということもあり、悩みを抱えている生徒などにどのようにアプローチしていけばいいのかわからないため、周囲の先生がどのように対応しているのか見て学ぶしかありません。そのような**個々の生徒への対応**というのが教員ならではの**大変なところ**だと思います。

コロナの影響で顧問をしている合唱部関連の自分の仕事が増えたり、様々な学校行事がなくなったことで**生徒たちがただ座学を強いられる状況になったり**しているのも大変なことです。また、洛南高校は進学校であるために学力の格差が広く、**どのレベルの生徒に合わせて授業をするか**が悩ましい点です。



▲合唱部での活動の様子

### Q5.教員志望の人に

アドバイスをお願いします！



**周りの人を頼ってください**。私は教員を目指す友人と必要事項を確認し合ったり、面接のグループワークの練習をしたりしました。たとえば面接で聞かれそうな内容を友人たちと議論を深めるといったことをしました。このような練習は1人では絶対にできません。また、先生方には個人面接や筆記試験の対策をしていただいたり、先生の豊富な知識や経験を教えていただいたり、とたくさんお世話になりました。さらに教職インターンシップで現職の教師の方に授業を見せていただけたことは採用試験で大いに役立ちました。

教師を目指す人に限らず、**チームとなって行った方が明るい未来が待っている**と思います。



▲洛南高等学校